

自ら**学ぶ力**をはぐくむ  
豊かな**心**をはぐくむ  
健康な**体**をはぐくむ  
郷土**愛**をはぐくむ

# 県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして 校長 阿部 央

## 感謝の心を忘れていませんか？

本年度の教育活動も残り2週間となりました。3年生は、いよいよ明後日が卒業式、そして15日が福島県立高校、16日が宮城県公立高校の合格発表です。4月になると自分の可能性をさらに高めてくれる新たな環境での生活が始まります。1, 2年生も学年が1つ上がり新たなステージでの学校生活になります。また、国見小学校の卒業生が新生入生として入学してきます。中学校生活の大きな節目であり、お世話になった先生方との別れと新たな先生方との出会いが待っています。

さて、皆さんは学校での生活にどのくらい満足できていますでしょうか。これまで、様々な国際比較調査において、日本の中学生は学校や家庭や地域での生活に満足している割合が他国に比べて低く、自分に自信が持てていないことが報告されています。比較対象となった国は教育条件も生活環境も日本ほど整っていない国が大半です。少なくとも、日本は日常生活を送るうえで危険や不安を感じることの少ない国です。

しかし、不満を感じている生徒の割合は学年が進むにつれて高くなっていきます。なぜでしょうか。それは、私たちも含め今の日本人の多くが、生命の危険や明日の生活への不安を感じることなく生きられていることに対して、感謝の心を忘れていないからではないかと思います。

本年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けた1年間でした。そんな中においても、過度に心配することなく学校生活を送ることができています。例えば、頻繁に人の手が触れる教室入口の引手やドアノブは定期的にアルコール消毒がされていて、気兼ねなく触れることができています。冬場の寒い時期でも皆さんが登校してくるころにはストーブに火が入り、教室は温かくなっています。授業や部活動などもほぼ通常に近い形でできています。皆さんが当たり前活動できている舞台裏には、活動を支えてくださっている方々がいることをはっきり意識したことはあるでしょうか。

用務員の鈴木さんやスクールサポートスタッフの幕田さんは、皆さんの活動が不自由なくできるよう、校舎内外の施設設備の点検や修繕、そして新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒作業に取り組んでくれています。皆さんが登校する前に校舎内を回って換気のために窓を明け、ストーブに点火してくれているのは三浦先生です。

皆さんが気付かないところで支えてくださっている方々への感謝の心を忘れてはいけないと思います。そして感謝の気持ちをしっかりと行動や言葉で伝えることが大切だと思います。皆さんに対する温かな支援や心遣いは他にもたくさんあります。これらを当たり前のこととは思わず、感謝の心を行動や言葉で表すことは、よりよい人間関係を築いていくためにはとても大切なことです。今日まで支えてくださった様々な方々の思いを受け止め、感謝の気持ちを伝え、新たな気持ちで清々しく令和3年度のスタートが切れるよう準備をしてほしいと願っています。

## 卒業を祝って～3年生へエール～

コロナ禍によって3年生への感謝の気持ちをしっかりと伝える機会がとれなかったことから、9日（火）の昼休みの時間に2年生の応援団が中心となって1, 2年生全員で3年生にエールを送りました。

決して十分とは言えないまでも、感謝の気持ちを具体的な行動でしっかりと伝えることができました。持ち前の行動力で、明るく元気に後輩たちをリードしてくれた3年生です。卒業を目前にした3年生への感謝の心と、これからは自分たちが県北中学校を支えていくという決意が感じられるエールでした。

